

## 避難所へ温かいお風呂・シャワー巡廻コンテナ号の提案

東日本大震災より 1 ヶ月が経ち、避難所での生活が長期化しています。  
お風呂の無い避難所がほとんどで、  
自衛隊の調査では 1 週間に 1 回以上入浴できない人が 80%となっています。  
避難所では最低限の生活のためにも、水洗設備を整備し衛生を保つことが早急に求められています。

20 フィート・コンテナを利用したお風呂シャワーユニットの第 1 号を製作しました。  
お風呂・シャワーの入ったコンテナユニットを荷台に積んだまま 4 トントラックで避難所を巡廻し、  
衛生環境の悪化する避難所生活をされている方々に温かいお風呂・シャワーを届けます。

下記概要により、巡廻コンテナ号の避難所支援を行います。  
トラックの支援や巡廻するボランティアの内容は下記のように考えています。

### 記

#### 1. 利用概要

地域を決め、毎日巡廻します。

目安として一日約 100 人、一ヶ月約 3,000 人、6 ヶ月で約 1 万人以上の人を利用できます。

一人 20 分の利用として、6 人が同時に使えるので、

$6 \times 60 \text{ 分} / 20 \text{ 分} = 1 \text{ 時間}$ で 18 人利用できます。

一日 8 時間稼働で  $18 \text{ 人} \times 8 \text{ 時間} = 148 \text{ 人}$ 。(※100 人程度の利用を想定しています)

移動と準備・清掃を午前中に行い、午後 12~8 時までの 8 時間稼働を想定しています。

#### 2. 仕事内容

避難所に到着後、トラックに積んだまま設置します。

タンクに水を貯め、プロパンガスを接続して、お湯とシャワーの状況を確認します。

排水はホースで近くの放水先へつなぎます。

お風呂ユニットの清掃を行い清潔に保ちます。

お風呂に気持ちよく利用してもらえるようにお世話をします。

#### 3. 避難所条件

- ・水が供給できること。
- ・排水が出来ること。
- ・水、電気費用は避難所負担。
- ・4 t ロングトラックが設置できるスペースがあること。